



令和5年7月28日
統合幕僚監部

令和4年度における自衛隊の災害派遣及び不発弾等処理実績について

1 全般

令和4年度の災害派遣の派遣件数は381件、総活動人員は延べ約50,000人でした。そのうち、主に①北海道知床沖における遊覧船事故に係る災害派遣、②台風第14号及び台風第15号に係る災害派遣、③特定家畜伝染病（鳥インフルエンザ）に係る災害派遣、④山林火災に係る災害派遣等を実施しました。

また、不発弾等処理の実績については、陸上において発見された不発弾等の処理件数は1,372件、処理重量は約41.9トン、海上における機雷の処理は実績なし、海上におけるその他の爆発性危険物の処理個数は3,779個、処理重量は約2.7トンでした。

2 令和4年度の主要な災害派遣

(1) 北海道知床沖における遊覧船事故に係る災害派遣

令和4年4月23日に発生した北海道知床沖における遊覧船事故による要救助者の捜索のため、活動人員延べ約7,100人により、航空機や艦艇による行方不明者捜索等を実施しました。

(2) 台風第14号及び台風第15号に係る災害派遣

台風の影響による土砂災害の被害が宮崎県及び静岡県において発生し、活動人員延べ約2,200人により、安否不明となった住民の捜索救助、給水支援活動、災害廃棄物の撤去支援活動等を実施しました。

(3) 特定家畜伝染病（鳥インフルエンザ）に係る災害派遣

令和4年4月から令和5年3月末までの間に発生した鳥インフルエンザに対し、活動人員延べ約33,000人により、鶏の殺処分を実施しました。

(4) 山林火災に係る災害派遣

山林火災の発生に際し、自治体により消火活動を実施するも鎮火に至らなかったものについて、活動人員延べ約1,300人により、空中消火活動を実施しました。

添付書類：令和4年度における自衛隊の災害派遣及び不発弾等処理実績について

JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

令和4年度における自衛隊の災害派遣 及び不発弾等処理実績について



令和5年7月
統合幕僚監部



目 次

1 災害派遣

- (1) 令和4年度に実施した主要な災害派遣
- (2) 災害派遣活動人員数の推移
- (3) 災害派遣件数（活動種類別）の推移（過去10年間）
 - ① 急患輸送実績
 - ② 消火活動実績
 - ③ 搜索救助実績

2 不発弾等処理

- (1) 陸上において発見された不発弾等処理実績の推移
- (2) 海上における機雷等処理実績の推移



1 災害派遣

令和4年度に実施した主要な災害派遣

件名	活動人員 (延べ)	時期	活動地域	活動内容等
北海道知床沖における 遊覧船事故 に係る災害派遣	約7,100人	4月23日(土) ～6月1日(水)	・北海道	・行方不明者捜索 等
台風第14号 及び 台風第15号 に係る災害派遣	約2,200人	9月19日(月) ～10月3日(月)	・宮崎県 ・静岡県	・住民の捜索救助 ・給水支援 ・災害廃棄物の撤去支援 等
特定家畜伝染病 (鳥インフルエンザ) に係る災害派遣	約33,000人	令和4年4月 ～令和5年3月	・北海道 ・青森県 ・茨城県 ・群馬県 ・千葉県 ・新潟県 ・愛知県 ・鳥取県 ・岡山県 ・広島県 ・福岡県 ・宮崎県 ・鹿児島県	・殺処分 等
山林火災 に係る災害派遣	約1,300人	令和4年4月 ～令和5年3月	・青森県 ・福島県 ・栃木県 ・宮崎県	・空中消火

遊覧船事故



台風対応



鳥インフルエンザ



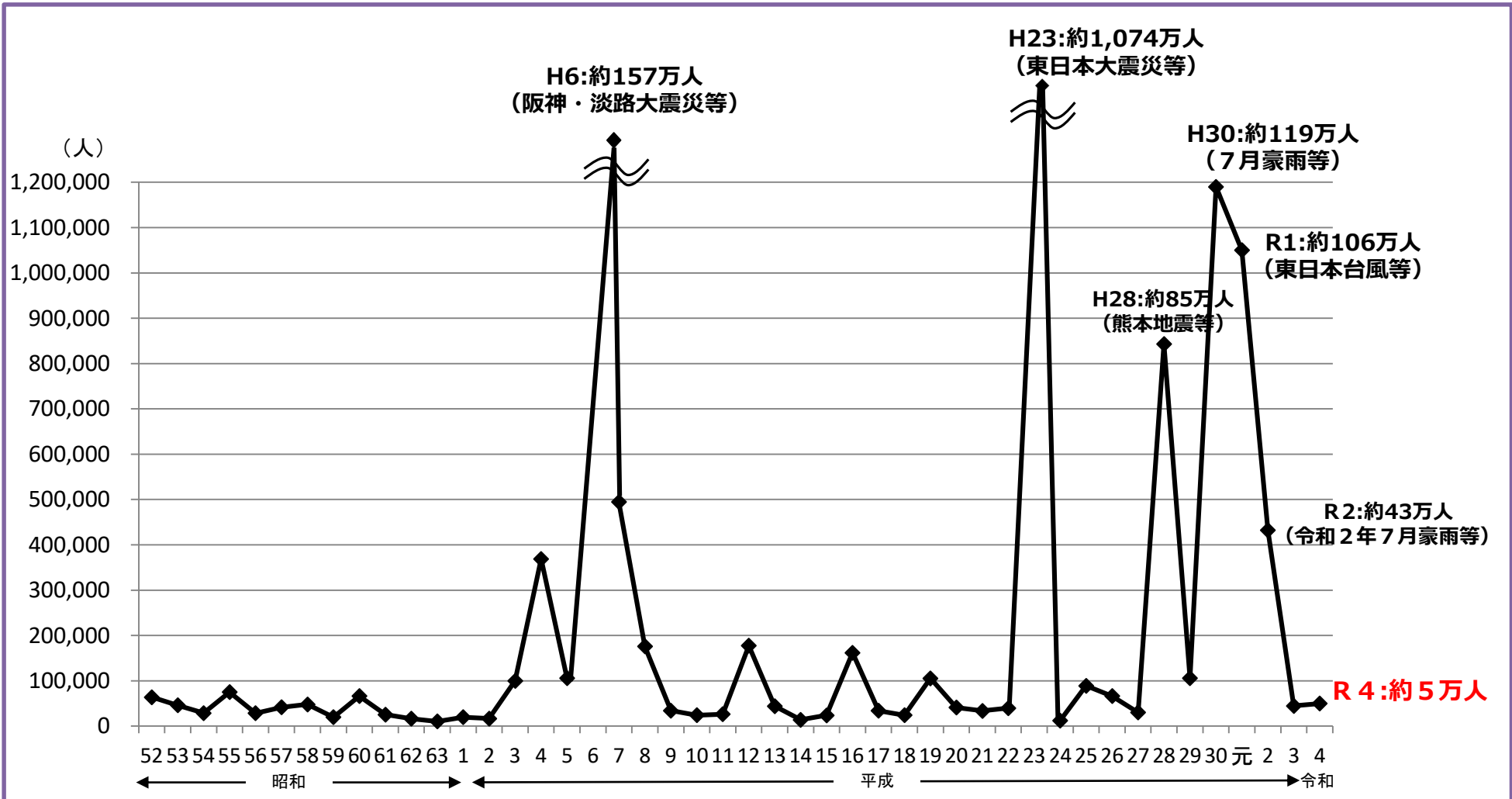
山林火災





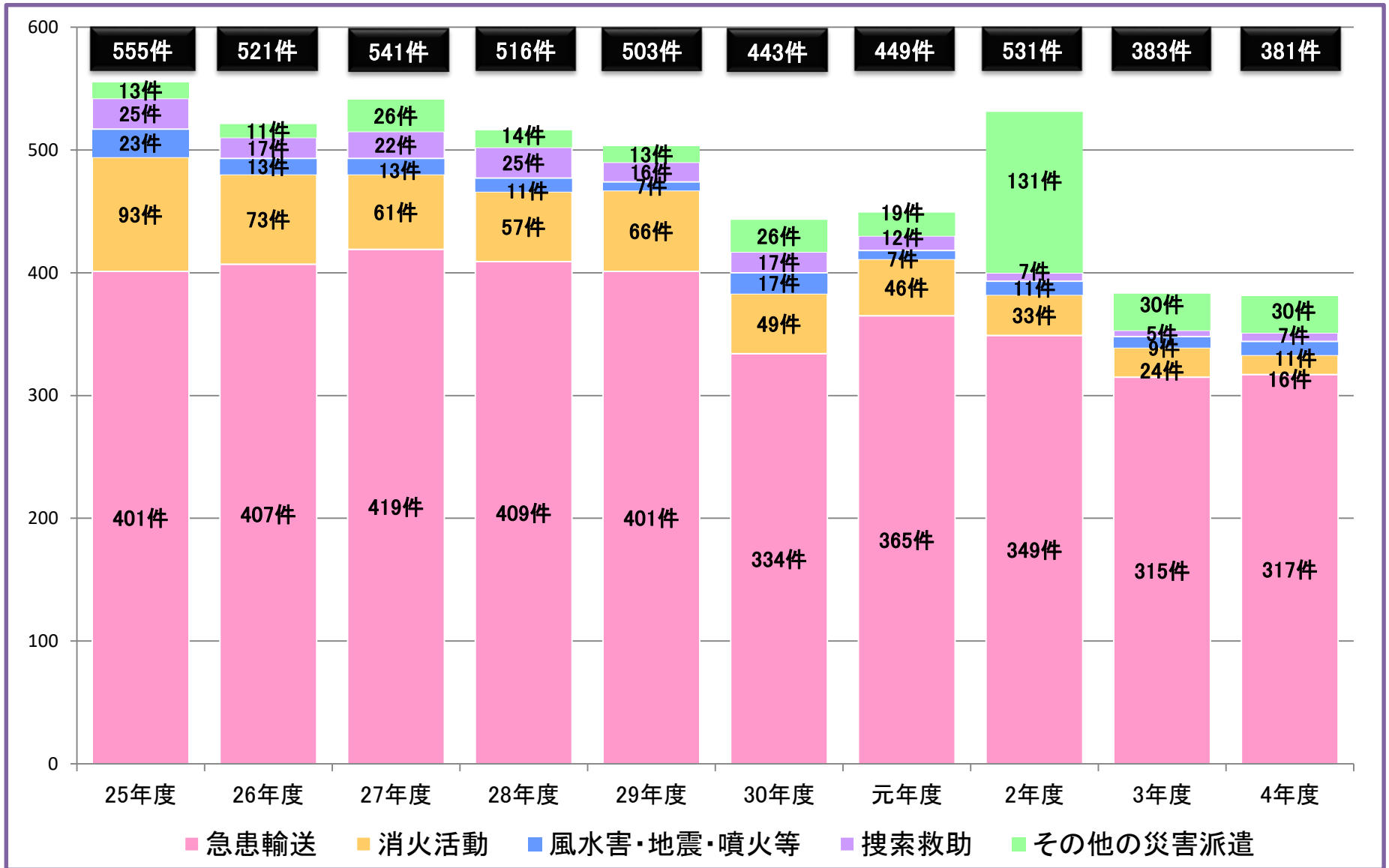
災害派遣活動人員数の推移

令和4年度は、延べ活動人員**約5万人**をもって災害派遣活動に従事





災害派遣件数※(活動種類別) の推移 (過去10年間)



※ 新型コロナウイルス関連の活動として、一般命令、官庁間協力による教育支援も含めた件数



① 急患輸送実績

■ 令和4年度総件数： 317件

例年同様、南西諸島（沖縄県及び鹿児島県）や長崎県の離島、小笠原諸島（東京都）などへの派遣が大半

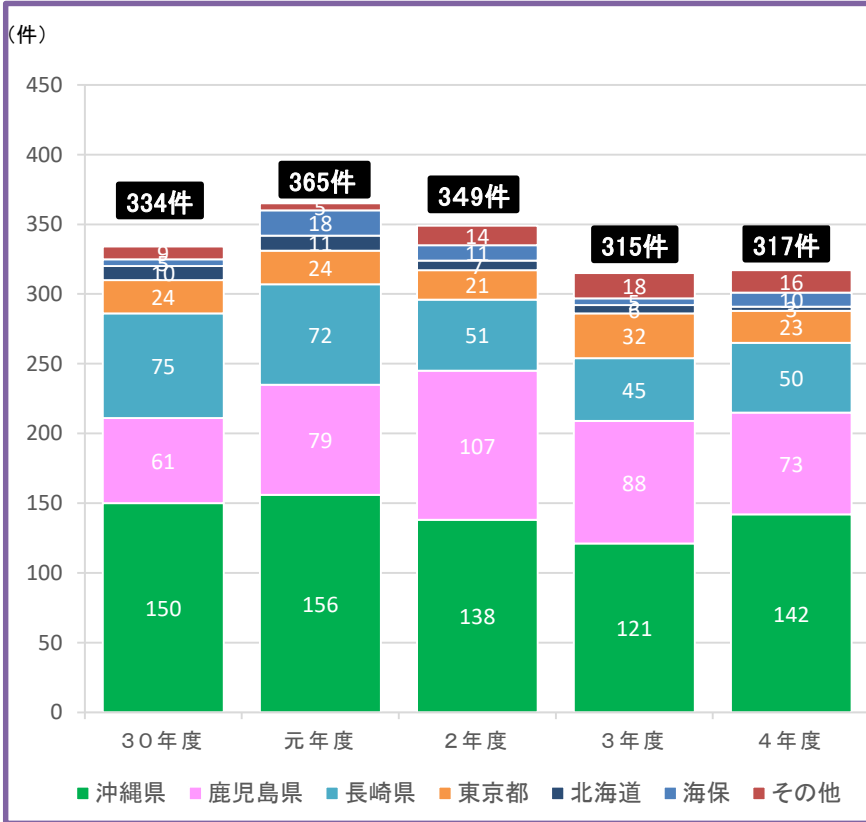


陸自CH-47による急患輸送

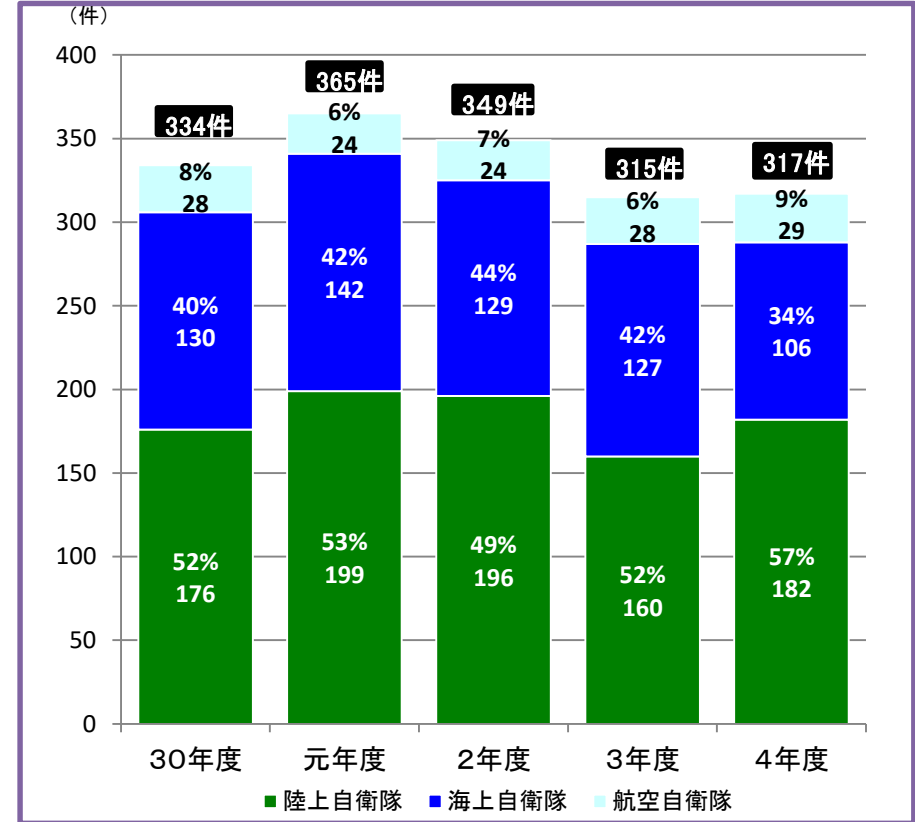


空自機動衛生ユニットによる急患輸送

件数及び要請都道府県等別実績推移



陸・海・空自衛隊別実績推移

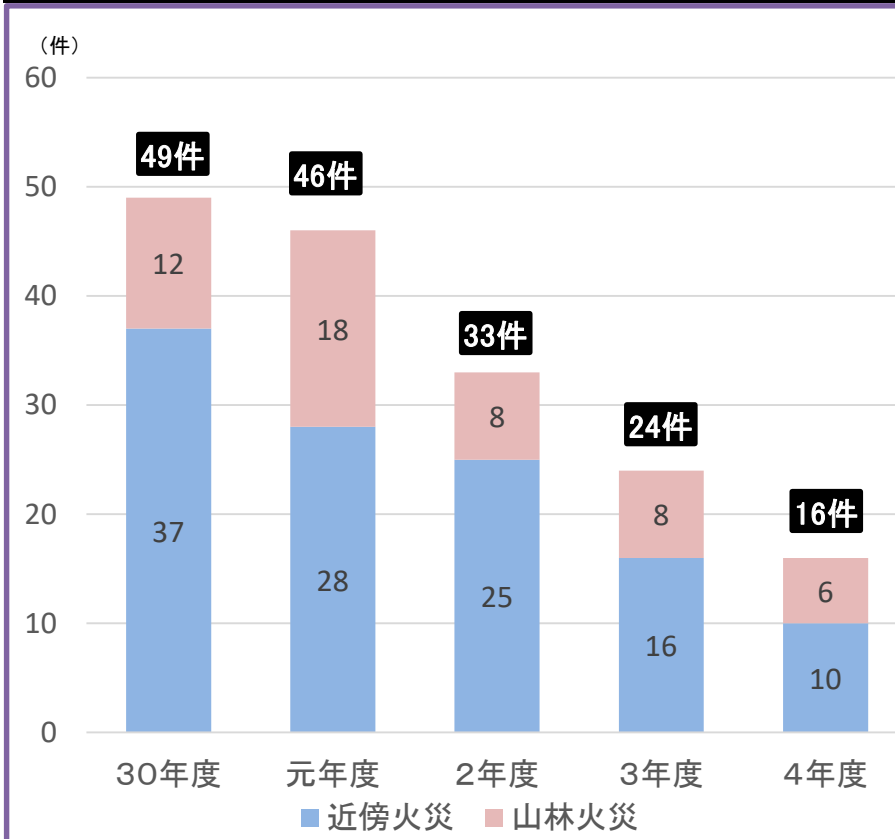




② 消火活動実績

■ **令和4年度総件数 : 16件**
 山林火災の件数及び近傍火災の件数は、
減少傾向

件数年度別実績推移 (過去5年間)

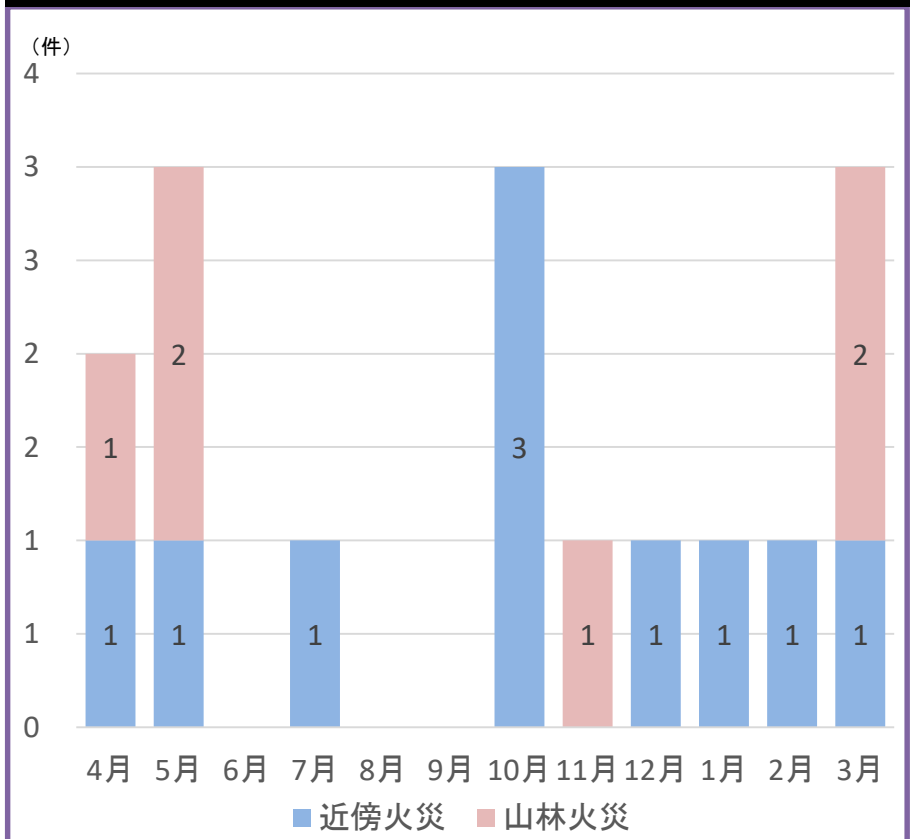


消火バケット取付中の陸自隊員



取水中の陸自CH-47

令和4年度の活動件数月別実績



③ 搜索救助実績

■ **令和4年度総件数：7件**
近年、搜索救助の件数は同程度で推移

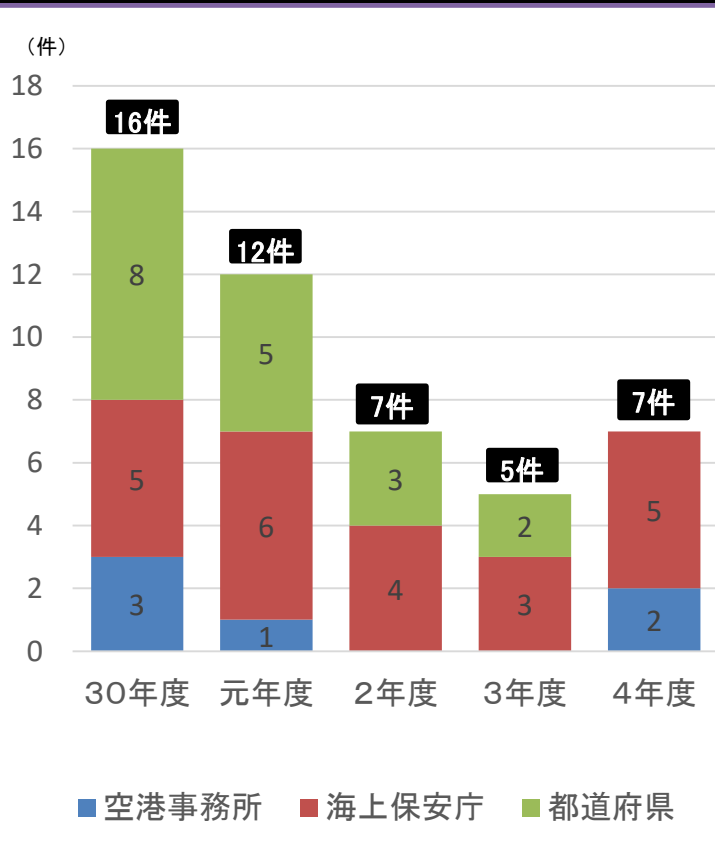


事故現場に降下する空自隊員



海自US-2による航行不能船舶からの救助

件数年度別実績推移（過去5年間）



令和4年度の要請機関別実績

区分	件数	要請元	種類	主な活動部隊
空港事務所	2件	東京空港事務所	行方不明者搜索、救助	第111航空隊(岩国) 小松救難隊(小松) 芦屋救難隊(芦屋) 新田原救難隊(新田原)
海上保安庁	5件	第一管区 第六管区 第七管区 第十一管区	行方不明者搜索、救助	第22航空隊(大村) 北部方面隊(札幌) 大湊地方隊(大湊) 呉地方隊(呉) 第2航空隊(八戸) 第2航空団(千歳) 航空救難団(各地) 他



2 不発弾等処理

陸上において発見された不発弾等処理実績の推移

令和4年度の処理実績

区分	処理件数	処理重量
全国 (沖縄含む)	1,372件	約41.9トン
沖縄	467件	約13.1トン



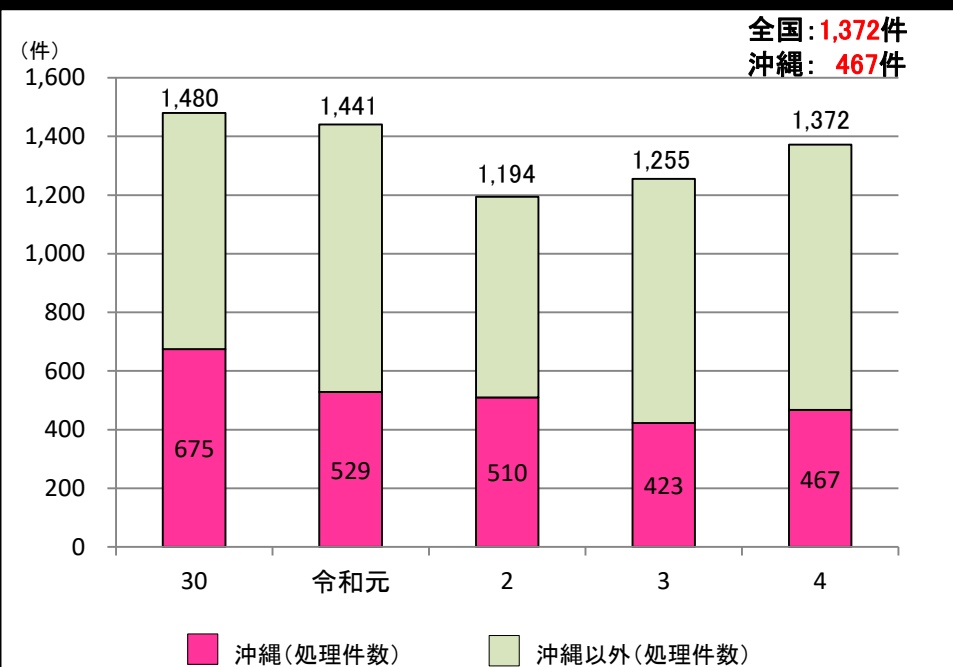
発見された不発弾等



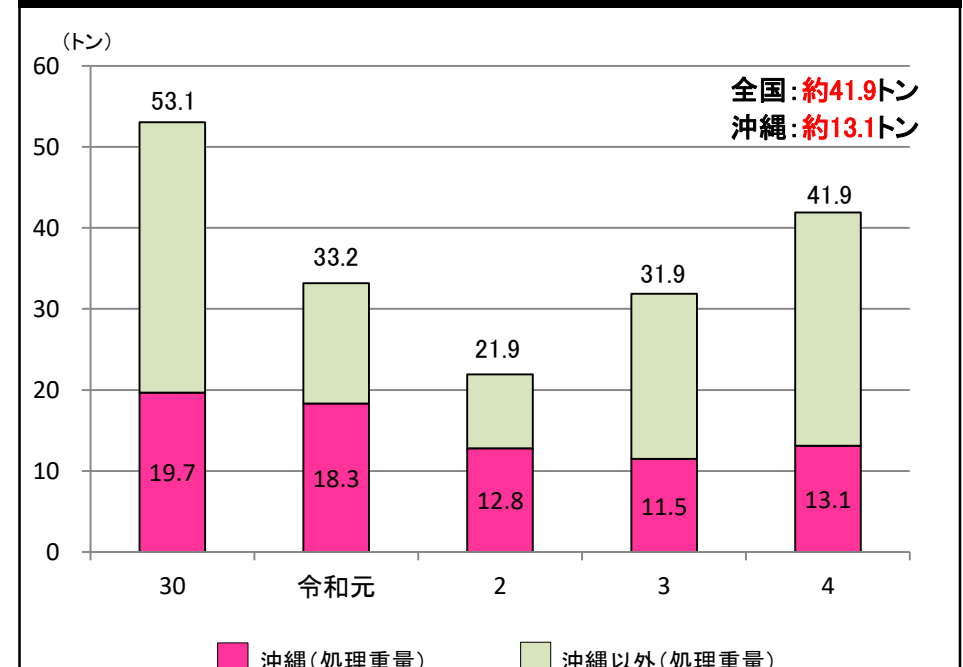
識別作業

- 処理件数及び処理重量ともに沖縄県の全国に占める割合が大きく、令和4年度は処理件数の約34%、処理重量の約31%

不発弾等処理件数の推移



不発弾等処理重量の推移



海上における機雷等処理実績の推移

令和4年度の処理実績

区分	処理個数	処理重量
機雷	実績なし	実績なし
その他の爆発性危険物(魚雷、爆雷、爆弾、砲弾等)	3,779個	約2.7トン

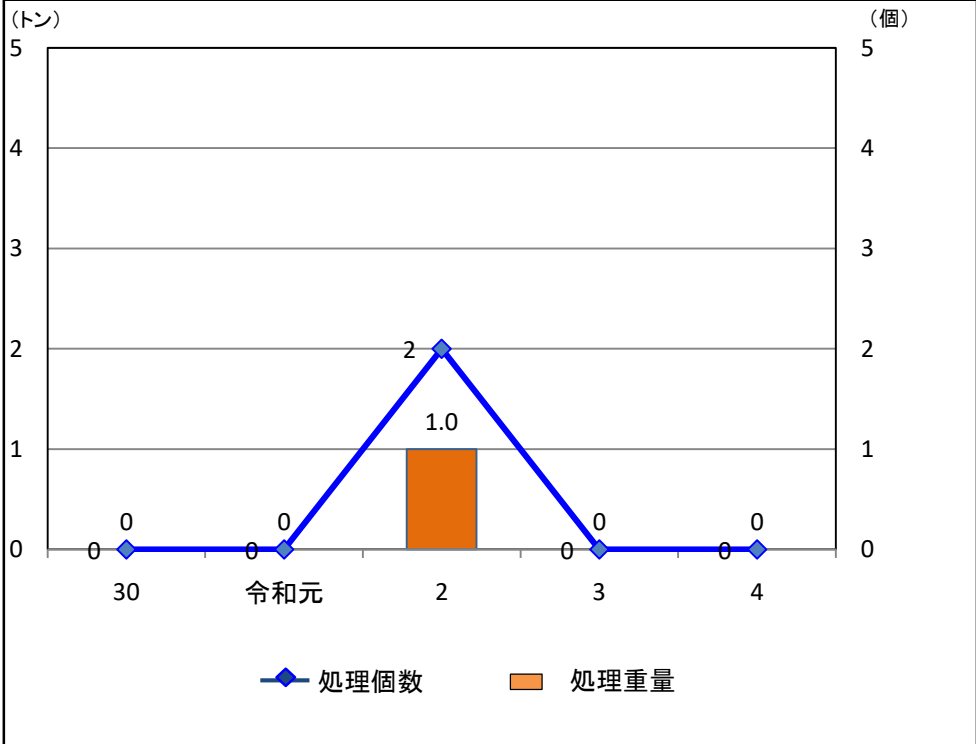


爆発性危険物への処置



水中爆破の状況

① 機雷の処理個数及び重量の推移



② その他の爆発性危険物の処理個数及び重量の推移

